	科目名	F	ProTools基礎実	習	担当講師	福	岡博美		
講師	<b>下実務経験</b>	音響/録音コ	エンジニア						
荥		1 学年	対象コース	サウンド・スラ	ージコース /総合コース	授業形態	演習		
	期間	前期	総授業回数	14 🗓	1回あたりの授業	時間	135 分		
	期				修得目標				
	前期	ProTools 0	基本操作を学び	<b>ド、MIXバラン</b> ス	、や音声編集の基礎を修得	<b>砕</b> する。			
回数	日程			【授	業 計 画	ī)			
1	4月21日	授業オリエン	ノテーション						
2	4月28日	ProToolsでは	出来ること						
3	5月12日	編集ウィンド	うの概要						
4	5月19日	ミックスウィン	ンドウの概要						
5	5月26日	データ管理に	こついて(作成、	、録音、インポー	-ト、保存)				
6	6月9日	編集トレーニ	ニング① 基本の	の操作方法					
7	6月16日	編集トレーニ	ニング② 簡単な	はMA作業 映像	と音の同期について				
8	6月23日	編集トレーニ	ニング③ オケと	ボーカルの編	<b>集</b>				
9	6月30日	ミックストレー	ーニング① JAZ	ZZバンドをmix <sup>-</sup>	する 基本の手順				
10	7月7日	ミックストレー	ーニング② JAZ	ZZバンドをmix <sup>-7</sup>	する レベルメーターの見力	5 仕上げ方			
11	7月14日	ミックストレー	ーニング③ オケ		コーラスの編集 ミックス グ	ループの作成	など		
12	7月28日	ミックスバウ	ンスの概要 マ	スタリングにつ	いて				
13	8月18日	実技修得度	の確認 起動、	インポート、編	集、ミックス、バウンス、授	業態度等をチェ	エック		
14	8月25日	定期試験対	策						
<b>=</b> 7	·····································	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
<u> </u>	「叫刀.広	成績評価方法:B							
	評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
-	テキスト	講義内容に	よりあり						
注	<b>主意事項</b>	42時間中	15時間の欠席で	で定期試験受験	<b>倹不可=卒業ができません</b>	(留年となりま	す)		

;	科目名	音響	音響機材メンテナンス I 担当講師 米谷 仁							
講師	実務経験	音響会社勤	<b>力務</b>							
文	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース	サウンド・スラ	テージコース /総合コース	授業形態	演習			
	期間	前期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業	<b>業時間</b>	135 分			
	期				修得目標					
	前期	PA機材の	基本的なメンラ	ナンス方法を	を修得する。					
回数	日程			【授	業計	画】				
1	4月21日	授業ガイダ	ンス							
2	4月28日	ブロックダイ	イヤグラムにつ	いて①						
3	5月12日	ブロックダイ	イヤグラムにつ	いて②、マイ	クスタンドの構造につい	て				
4	5月19日	各種ケーブ	「ル、コネクタの	)構造につい <sup>.</sup>	τ					
5	5月26日	はんだごて	の扱い方と練	習①						
6	6月9日	はんだごて	の扱い方と練	習②						
7	6月16日	はんだごて	の扱い方と練	習③						
8	6月23日	ケーブル作	成①							
9	6月30日	ケーブル作	成②							
10	7月7日	ケーブル作	成③							
11	7月14日	機材メンテ	ナンスについて							
12	7月28日	機材メンテ	ナンスについて	(2)						
13	8月18日	機材メンテ	ナンスについて	<u> </u>						
14	8月25日	定期試験対	<del></del>							
15										
	<b>评</b> 価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B								
	評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)								
=	テキスト	なし								
注	意事項	42時間中	15時間の欠席	で定期試験	受験不可=卒業ができま	せん(留年と	なります)			

7	科目名	イベント概論			担	1当講師	横Ⅰ	山 聡史	
講師	実務経験	広告代理原 サー	店勤務を経て₩			。現在フリーの	ディレクター	<b>/</b> プロデュ <sup>.</sup>	_
交	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース	ウンドステー	ジコース/ラ ルクリエイト:	ジャーコース/サ ウイティングコー コース/スタジオ -ス	授業形態	講義	
	期間	前期	総授業回数	î .		回あたりの授業	時間	45	分
	期				修得	目標			
	前期	イベントの	知識と各スタッ	/フの役割、1		等の基礎を修行	导する。		
回数	日程			【授	業 	<u>計</u>	画】		
1	4月15日	オリエンテ・	ーション/目標	票設定と様々	なものに関	関心や興味を持	うことの大切	切さについて	<b>C</b>
2	4月22日	イベントとに	は何か/イベン	小の定義と	一般的な遺	<b>運営組織図</b>			
3	5月13日	イベントに	関わるセクショ	ン/ 1回目	(ディレクタ	<b>Þ</b> —)			
4	5月20日	イベントに	関わるセクショ	ン/ 2回目	I (PA・レコ・	ーディング)			
5	5月27日	イベントに	関わるセクショ	ン/ 3回目	(照明・映作	象)			
6	6月10日	イベントに	関わるセクショ	ン/ 4回目	(プロデュ-	<b>ーサー</b> )			
7	6月17日	イベントに	関わるセクショ	ン/ 5回目	(主催者、	後援、協力、協	賛)		
8	6月24日	イベントに	関わるセクショ	ン/ 6回目	(MC)				
9	7月8日	イベントに	関わるセクショ	ン/ 7回目	(会場選定	の条件、会場の	との折衝)		
10	7月15日	イベントに	関わるセクショ	ン/ 8回目	(イベントの	D広報)			
11	7月22日	イベントに	関わるセクショ	ン/ 9回目	(メディアと	:インターネット	、各種SNS)		
12	7月29日	イベントに	関わるセクショ	ン/ 10回	目(メディア	とインターネット	~、各種SNS)		
13	8月19日	イベントに	関わる心得/:	最低限必要	ーー な心得、プ	ライオリティ			
14	8月26日	総まとめ・	テスト対策						
15									
到	 <sup>፲</sup> 価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
		成績評価方法:A							
	<u>評価</u> テキスト	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
	<u>「ナムト</u> 三意事項	14時間止	- 5時間の欠!!	まで定期討馬	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 =卒業ができま	せん(留年と	·なります)	
		- 160 (B) (I	- 11 g (Fig * 2 / 2 //	/C/91U/6回	· ~ · · · · · · ·	1 2/20 00 0	· · · · · · ·	- 5. 7 0 7 7 7	

;	科目名		電気基礎		担当	講師	鈴木	雅光	
講師	<b>下実務経験</b>	イベント制作	作会社勤務						
交	<b>才象学</b> 年	1 学年	対象コース	コンサート制作 ウンドステージ ス/ビジュアル サウンドコース	ジコース/ライ・ ・クリエイトコー	ティングコー -ス/スタジオ	授業形態	講事	戋
	期間	前期	総授業回数	14 回		あたりの授業	時間	45	分
	期				修得目	標			
	前期	電気の基礎	楚及び電気を安				,		
回数	日程			【授	業	<u>計</u>	画】		
1	4月15日	授業ガイダ	ンス						
2	4月22日	基礎的な電	気について	電流・電圧・扌	氐抗				
3	5月13日	直流と交流	とオームの法	則について					
4	5月20日	直列•並列	及び合成抵抗	について					
5	5月27日	単相2線式	、周波数、実效	め値について					
6	6月10日	電気容量記	†算、ジュール	の法則につい	いて				
7	6月17日	リアクタンス	ス、インピーダン	ンスについて					
8	6月24日	有効電力、	無効電力、皮	相電力、力率	いついて				
9	7月8日	単相交流と	:三相交流につ	いて					
10	7月15日	スター結線	、デルタ結線し	こついて					
11	7月22日	ランプ及び	ケーブルの種	類、電線の許	容電流、電	気の安全な耳	取り扱い		
12	7月29日	電圧降下•	電力損失、発	電機からの電	 記源				
13	8月19日	複線図の書							
14	8月26日	定期試験対	<del></del>						
15									
評	定期試験(筆記試験)100%、平常点 評価方法			%、平常点土	10点(出席≌	率、提出物、持	受業態度・取約	組状況なる	(تا
	成績評価方法:A			0.00\ 4/00	00) 5/30 (	20) 0/50 50	D/40121 T	<del></del>	
	<u>評価</u> テキスト	上記総合記	平価点 S(10 こてプリント配る		-8U) B(/9-6	ou) C(59-50	)) D(49以下:	个月)	
	<u>「ヤヘト</u> 三意事項		<u>- Cフリント配1</u> 5時間の欠席		受験不可=2	卒業ができま	せん(留年とか	なります)	
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1 1 4 4 1 HO . 1 .	Ong [H] 47.7%	/C /y/ ロナい 門入	~~~ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	, //// ` ` C &	_ · • · 由 干 C ·	J. , U. , /	

;	科目名		安全概論		担当	当講師	久	本 晃三	
講師	<b>下実務経験</b>	音響会社勤	<b></b>						
交	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース	コンサート制作 ウンドステーシ ス/ビジュアル サウンドコース	ジコース/ライ ・クリエイトコ・	'ティングコー ース/スタジオ	授業形態	講義	
	期間	前期	総授業回数	14 🗓		あたりの授業	時間	45	分
	期				修得目	標			
	前期		美に潜む危険を 安全基準を修				を高め日本	舞台技術安	全協
回数	日程			【授	業	計	画】		
1	4月15日	授業ガイダ	ンス						
2	4月22日	安全衛生管	管理の基本を管	学ぶ					
3	5月13日	現場におけ	├る、事故事例	の紹介(1)					
4	5月20日	現場におけ	ける、事故事例	の紹介(2)					
5	5月27日	作業に適し	た服装(靴、ク	———— ブローブ、衣服	———— 段等)				
6	6月10日	ヘルメット							
7	6月17日	ラッシング	ベルト						
8	6月24日	機材の運搬	л Х						
9	7月8日	安全帯							
10	7月15日	健康管理と	:日常生活他						
11	7月22日	火気の使用	月他						
12	7月29日	精神的な注	 注意事項他						
13	8月19日	始業時の打	Tち合わせ他						
14	8月26日	落下、飛来	落下、転倒、個	 到壊など危険	を伴う作業	他、定期試験	対策		
15									
部	F価方法	定期試験(成績評価力	筆記試験)100 5法:A	%、平常点土	10点(出席)	率、提出物、抗	受業態度•取	組状況など	.)
	評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
-	テキスト								
注	意事項	14時間中	5時間の欠原	まで定期試験	受験不可=	卒業ができま	せん(留年と	なります)	

;	科目名		音響概論 I		担当	講師	千	葉諭			
講師	実務経験	音響会社菫	<b></b> 协務								
坎	<b>力</b> 大象学年	1 学年	対象コース	サウンド・ステ	ージコース/約	総合コース	授業形態	講義			
	期間	前期	総授業回数	14 🗓	1回	あたりの授業	時間	135 分	,		
	期				修得目	標					
	前期	音響機材における基本的な音の流れや音の性質を理解し、基礎知識を修得する。									
回数	日程			【授	業	計	画】				
1	4月15日	PAとは何か	ンス(授業目 い。、作業をす								
2	4月22日		の役割と概要」における信号	骨の流れ、ミキ	シングコンソ	ノールの各機	能、各種コネ	クタとケーブル	レ		
3	5月13日	音の発生、	伝達の仕組み	,、性質、位相	、音の単位	「デシベル」(	こついて				
4	5月20日	音速と波長	、周波数の概	念とイコライ+	<b>ザーについて</b>	5					
5	5月27日	電気基礎の	つ復讐、マイク	、DIについて、							
6	6月10日	スピーカー	、パワーアンフ	プについて							
7	6月17日	リバーブと AUXを使用	ディレイ lしたモニタリン	<i>,</i> グとリバーブ	の使用にお	ける信号の?	流れ理解				
8	6月24日	カラオケ現	場を想定したの	仕込みの手順	、配線、操作	乍の理解					
9	7月8日	回線表、仕	込み図、ステ・	ージプロットに	ついて						
10	7月15日	音楽の分析	斤(オペレートに	に向けた着眼	点)						
11	7月22日	音響現場( 使用電力記	こおける電気 <i>0</i> †算	)重要性と基礎	楚知識						
12	7月29日		こおける仕事 <i>0</i> 主、発注、役割		手順						
13	8月19日	総復習									
14	8月26日	定期試験対	·····································								
—— 討	価方法	定期試験(成績評価力	筆記試験)100 5法:A	%、平常点土	10点(出席率	×.提出物、持	受業態度•取紀	<u></u> 組状況など)			
	評価	上記総合詞	平価点 S(10	0-90) A(89-	80) B(79-6	60) C(59-50	) D(49以下	不可)			
	テキスト	参考資料0									
注	意事項	42時間中	15時間の欠	席で定期試験	美受験不可=	卒業ができる	ません(留年と	<u>-</u> なります)			

;	科目名		PA実習 I		担当講師      千葉 諭					
講師	実務経験	音響会社菫	<b>か</b> 務							
女	力象学年	1 学年	対象コース	サウンド・スー	テージコー	ス/総合コース	授業形態	実習		
	期間	前期	総授業回数	14 回	1[	回あたりの授業	時間	270	分	
	期				修得目	標				
	前期	音響の基礎	きを学び、スタン	ンドスピーカー	ーセットの耳	対扱いを修得	する。			
回数	日程			【授	業	計	画】			
1	4月16日					の流れを説明》 ・ステムの設置		(ゴールの掛	是示)	
2	4月23日	コンソール	内の信号の流	れ及び基本技	<b>喿作実践、</b>	各機器間の接	続方法の説	明		
3	4月30日	スタンドスヒ	<u>゚</u> ーカーシステ	ムのセットア	ップ実践①	)				
4	5月14日	スタンドスヒ	ピーカーシステ	ムのセットア	ップ実践②	)				
5	5月21日	AUXを使用	してのモニタリ	リング						
6	5月28日	スタンドスヒ	ピーカーシステ	ムのセットア	ップ実践③	)				
7	6月11日	スタンドスヒ	ピーカーシステ	ムのセットア	ップ実践④	)				
8	6月18日	AUXを使用	してのリバー	ブ使用実践						
9	6月25日	カラオケ現	場を想定したか	セットアップ						
10	7月9日	少人数シュ	ミレーション①	) スタンドスt	ピーカーセ	ット/AUXモニタ	マー仕込み~	・チェック		
11	7月23日	少人数シュ	ミレーション②	)スタンドスt	<sub>ピ</sub> ーカーセ	ット/AUXモニタ	7一仕込み~	チェック		
12	7月30日	少人数シュ	ミレーション③	)スタンドスt	<sub>ピ</sub> ーカーセ	ット/AUXモニタ	7一仕込み~	チェック		
13	8月20日	マイクケー <sup>・</sup> 修得度の研	ブル、マイクス 笙認	タンドの取り	扱い練習					
14	8月27日	定期試験対	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
15										
≣1	 F価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)								
	「M)八文	成績評価方法:B								
	評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)								
<u> </u>	テキスト	参考資料の配布								
注	意事項	84時間中	29時間の欠席	で定期試験	受験不可=	卒業ができま	せん(留年と	なります)		

科目名ペン字講座					;	担当講師	西	i山 香
講師	実務経験	書道教室詞	<b>講師</b>					
欬	<b>才象学</b> 年	1 学年	対象コース	/サウンドス・	テージコ ジュアル	ージャーコース ース/ライティン クリエイトコー コース/総合	授業形態	演習
	期間	前期	総授業回数	13 回	1	Ⅰ回あたりの授業	美時間	45 分
	期				修得	目標		
	前期	履歴書作成	<b>戈と社会人生活</b>	ちに向けたきた	れいで美	しい字の書き方	を修得する。	
回数	日程			【授	業	計	画】	
1	4月17日	履歴書下書	き					
2	4月24日	ひらかな						
3	5月8日	カタカナ						
4	5月15日	漢字(横書	·熟語)					
5	5月22日	横書き文章	<u> </u>					
6	6月12日	札幌市•区	名					
7	6月19日	常用漢字句	寸表①					
8	6月26日	常用漢字位	寸表②					
9	7月10日	試験						
10	7月17日	履歴書①						
11	7月24日	履歴書②						
12	8月21日	履歴書③						
13	8月28日	履歴書④						
14								
15								
割	価方法	3分の2以.	上の出席で修	得済評価				
	評価	評価 修得	斉					
テキスト プリント配布								
注	意事項	注意事項 13時間中 5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります						なります)

科目名    舞台論    担当講師						当講師	笹出	出 将太	
講師	<b>下実務経験</b>	照明デザィ	(ナー、オペレ-	ーター、舞台	監督				
交	力象学年	1 学年	対象コース		テージコー ジュアルク		授業形態	講義	
	期間	前期	総授業回数	13 🗓	1[	回あたりの授業	時間	45 分	
	期				修得	標			
	前期	劇場の歴史	とや舞台の基2	本的な知識お	よび設備	について修得す	する。		
回数	日程			【授	業	計	画】		
1	4月17日	授業ガイダ	゚ンス、						
2	4月24日	西洋の上海	寅芸術や劇場	史について					
3	5月8日	日本の上海	寅芸術や劇場	史について					
4	5月15日	舞台の基本	▶、平面•断面	·寸法につい <sup>-</sup>	7				
5	5月22日	幕類用吊物	物設備について						
6	6月12日	照明用吊物	物設備について						
7	6月19日	大道具用お	および音響反射	対板・スクリー	ンなどの品	引物設備につい	て		
8	6月26日	舞台の床様	幾構について						
9	7月10日	舞台の照明	月設備について						
10	7月17日	幕類•照明	に関する専門	用語について	-				
11	7月24日	公演・舞台	、機構・道具に	関する専門原	用語につい	いて			
12	8月21日	スタッフの和	重類と役割につ	ついて					
13	8月28日	安全管理が	および労働災害	言防止につい	て/前期の	総括および試	験対策		
14									
15									
評	·	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A							
	評価	上記総合記		0-90) A(89-	-80) B(79	-60) C(59-50	) D(49以下	不可)	
<b>.</b>	テキスト					1 40 - 5 -			
注	意事項	13時間中	5時間の欠席	まで定期試験	受験不可	=卒業ができま	せん(留年と	なります)	

:	科目名		就職ガイダン	ス	担当	講師	_	·岡永	
講師	<b>下実務経験</b>	音響会社菫	协務						
交	<b>才象学</b> 年	1 学年	対象コース	コンサート制/サウンドス・ グコース/ビュ ス/スタジオ・	テージコース ジュアルクリ	く/ライティン エイトコー	授業形態	講事	<b>É</b>
	期間	前期	総授業回数	13 回		あたりの授業	時間	45	分
	期	<u> </u>			修得目	標			
	前期	就職活動を	を自発的に進め						
回数	日程			【授	業	計	画】		
1	4月17日	授業オリエ	ンテーション、	業界実習の記	兑明 ——————				
2	4月24日	働くという事	事について						
3	5月8日	音楽放送第	<b>業界の職業紹</b> 介	î					
4	5月15日	基本的な勍	<b>忧職活動の流</b> ∤	ı					
5	5月22日	自己分析と	∷志望動機						
6	6月12日	文章の作品	<b>艾方法について</b>	5					
7	6月19日	過去求人の	D紹介						
8	6月26日	自己PR文章	章の作成につい	いて					
9	7月10日	業界が求め	かる人物像につ	いて					
10	7月17日	就職支援力	ナイトの説明/ヌ	<b>求人票の見方</b>	ī				
11	7月24日	自由応募オ	<b>ド人と学校推薦</b>	i 家人につい	7				
12	8月21日	志望動機の	り作成について	5					
13	8月28日	就職活動詞	十画の作成						
14									
15									
<u> </u>	部価方法 3分の2以上の出席で修得済評価			得済評価					
	評価 評価 修得済								
テキスト就職便覧、プリント配布									
注	意事項	13時間中	5時間の欠席	まで定期試験	受験不可=ዻ	卒業ができま	せん(留年と	なります)	

:	科目名	楽器概論	担当講師	千葉	千葉 諭				
講師	<b>事務経験</b>	音響会社勤務	•						
交	<b>才象学年</b>	1 学年 対象コース オウンド・ス	ステージコース/総合コー	授業形態	講義				
	期間	前期 総授業回数 13 回	1回あたりの授業	時間	45 分				
	期		修得目標						
	前期	ギター、ベース、ドラム、キーボードの	)各部名称や基本セッティ	ングを修得する。	0				
回数	日程	【授	業計	画】					
1	4月17日	授業オリエンテーション(授業目標の様々な楽器の紹介(音色、構造、音の		)					
2	4月24日	ドラムセット、基本セットにおける各部	B名称と基本サイズ (1977)						
3	5月8日	ドラムセット、種類やメーカーによる遠 (シェル、ヘッド、シンバル、ハードウ:							
4	5月15日	ギター、ベースの各部名称							
5	5月22日	ギター、ベースの種類やメーカーによ	る違いと特徴						
6	6月12日	エレキギター、エレキベースにおける	アンプの種類と基本操作						
7	6月19日	鍵盤楽器について							
8	6月26日	ドラムセットの組立て(解説)							
9	7月10日	ドラムに関する復習と解説							
10	7月17日	ギター、ベースに関する復習と解説							
11	7月24日	鍵盤楽器に関する復習と解説							
12	8月21日	楽器に関するエフェクターの基礎知言	哉						
13	8月28日	定期試験対策							
14									
15									
部	<b>呼価方法</b>	定期試験(筆記試験)100%、平常点= 成績評価方法:A	±10点(出席率、提出物、持	受業態度•取組丬	犬況など)				
	評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
	テキスト	参考資料の配布							
注	E意事項	13時間中 5時間の欠席で定期試験	険受験不可=卒業ができま	せん(留年となり	ります)				

:	科目名		PA基礎実習			葉諭						
講師	<b>下実務経験</b>	音響会社勤	務									
交	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース	サウンド・ス	テージコ	ース/総合コー	授業形態	演習	1			
	期間	前期	総授業回数	13 🗓		1回あたりの授業	上 美時間	90	分			
	期				修得	目標						
	前期	ケーブル巻	ケーブル巻きやマイクスタンドの取り扱いを徹底的に修得する。									
回数	日程			【授	業	計	画】					
1	4月17日	ケーブルの	取り扱い練習	<b>i</b> 1								
2	4月24日	ケーブルの〕	取り扱い練習	②、各種コネ	トクタと、	ケーブルの構造	の確認					
3	5月8日	ケーブルの〕	取り扱い練習	13								
4	5月15日	ケーブルの	取り扱い 実	技修得度確認	認							
5	5月22日	マイクスタン	ドの取り扱い	練習①								
6	6月12日	マイクスタン	ドの取り扱い	練習②								
7	6月19日	マイクスタン	ドの取り扱い	・ 実技修得!	度確認							
8	6月26日	スタンドスピ	ーカーの設置	置練習①								
9	7月10日	スタンドスピ	ーカーの設置	置練習②、簡	単なPAシ	ノステムの設置						
10	7月17日	スタンドスピ	ーカーの設置	置練習③、簡	単なPAシ	ノステムの設置						
11	7月24日	スタンドスピ	ーカーの設置	置 実技修得	度確認							
12	8月21日	簡単なPAシ	ステムの復習	<b>9</b> 1								
13	8月28日	定期試験対	·策									
14												
15												
郭	 呼価方法			得度(70%)	平常点士	10点(出席率、提出	出物、授業態度	₹•取組状況フ	など)			
		成績評価方法:B										
<u> </u>	<u>評価</u> テキスト	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可) 参考資料の配布										
	<u>- イスト</u> 			で定期討論	多験不可	 =卒業ができまt	ナん(留在とた	こります)				
	心上公	I-A-MINILL C	トーコーロマンノへ「中	- / // //   // // // // // // // // // //	~~^~	1 7/10 (1)	- ・v 、田 干し'd	~ / U / /				

:	科目名		プロット制作		担	当講師	千芽	葉 諭	
講印	<b>下実務経験</b>	音響会社菫	<b>力務</b>						
交	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース	サウンド・ス <sup>-</sup> ス	テージコー	ス/総合コー	授業形態	演習	
	期間	前期	総授業回数	6 <u>□</u>		]あたりの授業	時間	135	分
	期				修得目	標			
	前期	各種図面な	や表を作成する	為のPC基本	操作技術	を修得する。			
回数	日程			【授	業	計	画】		
1	7月4日		ンテーション 6す各種図面 <i>0</i>	D説明					
2	7月11日	回線表の作	作成練習①						
3	7月18日	図面作成に	に向けた基本技	操作					
4	7月25日	回線表の作	———— 作成練習②						
5	8月22日	課題制作~	~提出						
6	8月29日	定期試験対	対策						
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
郭	 F価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
		成績評価力					/		
<u></u>	<u>評価</u> - セコリ	上記総合記		0-90) A(89-	80) B(79-	-60) C(59–50	)) D(49以下	不可)	
	テキスト								
汪	E意事項	10时间屮	/ 時间の火席	じ正期試験党	は一般 10 円 三分	- 未かじざまも	とん(笛牛とな	ツエ9)	

;	科目名 PA実習 担当講師 久本 晃三								
講師	市実務経験	音響会社勤	助務						
交	付象学年	1 学年	対象コース		選択者		授業形態	実習	<u> </u>
	期間	前期	総授業回数	3(2) 回		回あたりの授業	時間	135	分
	期		· / / / / / / /		修得		·· / = / !!=·	7 12 75	
	前期	PAというた	±事を理解し、 			スタンドの基本	的な取り扱い	へを修得す	する。 
回数				【授	業	計	画】		
1	4月18日 4月25日 5月9日	オリエンテ・	ーション、ケー	ブル巻き					
2	5月16日 5月23日 6月13日	PAセクシ≣	ョンの仕事の概	ŀ要説明、ケ	·一ブル巻き	・、マイク、マイク	7スタンドの耶	gり扱い 	
3	6月20日 6月27日	PAセットを	組んで音を出し	してみる。					
4									
5									
6									
7									
8									
9			_			_			
10									
11									
12									
13									
14			_						
15									
評	平価方法		出席で「修得家						
	評価	「修得済」語	平価(点数評価	iは行わない	١				
	テキスト								
注	主意事項	9(6)時間	]中 6(3)時間 <i>0</i>	の欠席で定	期試験受験	不可=卒業がで	ごきません(督	₹年となり	ます)

;	科目名		REC実習				担当	講師	金	沢 琢司	
講師	<b>事務経験</b>	レコーディ	ングスタジオ勤	務							
交	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース		;	授業	選択者		授業形態	実	習
	期間	前期	総授業回数	3(2)	回		1回	あたりの授業	美時間	135	分
	期					修	得 目	標			
	前期	レコーディ	ングスタジオの	)基本を修	<b>修</b> 得						
回数				【授		業		計	画】		
1	4月18日 4月25日 5月9日	スタジオワ	一クの紹介								
2	5月16日 5月23日 6月13日	マイクセッ・	テイング(ドラム	ムセット)							
3	6月20日 6月27日	ミックス素を	材を使ってのラ	デモミックス	ス						
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
Ē	<b>呼価方法</b>	2/3以上の	出席で「修得》	斉」評価							
	評価	「修得済」記	評価(点数評価	は行わな	よい						
=	テキスト	各回授業(	こて配布								
注	意事項	9(6)時間	引中 6(3)時間(	の欠席で	定期	試駁	受験不	可=卒業が	できません(f	留年となり	<u></u> )ます)

7	科目名		照明実習	当 担当講師 鈴木 雅光						
講師	<b>下実務経験</b>	イベント制·	作会社勤務							
坎	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース		授業選択者		授業形態	実習		
	期間	前期	総授業回数	3(2)		あたりの授業	時間	135	分	
	期				修得目	標				
	前期	『照明』とは	は、どのような仕					する。		
回数				【授	業	計	画】			
1	5月9日	授業ガイダ	「ンス。照明の行	役割と、音楽	と照明につい	いて				
2	5月16日 5月23日 6月13日	仕込みから	らシュートまでに	こついて						
3	6月20日 6月27日	オペレート	について							
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
評	評価方法 2/3以上の出席で「修得済」評価									
	評価		平価(点数評価							
	テキスト		こてプリント配布		(== h=+ = ·		<del></del>			
注	È意事項	9(6)時間	引中 6(3)時間の	<b>り欠席で定</b> 算	朗試験受験不	可=卒業がで	ごきません(留	3年となりま	す)	

	科目名		テレビ番組制	制作 担当講師 田端 優一							
講師	<b>下実務経験</b>	放送局関連	重会社勤務								
文	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース			選扎	<b>沢者</b>		授業形態	実 <sup>:</sup>	 習
	期間	前期	総授業回数	3(2)	□		1回	あたりの授業	時間	135	分
	期					修 征	导 目	標			
	前期	番組制作の	の流れとスタッ	フの役割	割を理	解し、	基礎的	りな知識と技	術を修得す	る。	
回数				【授		業		計	画】		
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイタ	ンス~番組制	作の現	場に	ついて	-				
2	5月16日 5月23日 6月13日	テレビスタ	ジオ、副調整国	室の仕糸	且みや	機材:	全般の	取り扱い方に	こついて		
3	6月20日 6月27日	テレビスタ	ジオで番組のリ	収録を行	テう						
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
部	·····································	2/3以上の	出席で「修得》	齐」評価	İ						
	 評価	 「修得済□	平価(点数評価	は行か	たい						
_	_ <u></u>	授業にて資		110111	·······						
	<u>/                                    </u>		引中 6(3)時間(	の欠席で	で定期	試験	 受験不	可=卒業がで	できません({	留年となり	ます)

7	科目名		文書デザイン	,	担当	i講師	近原	藤 直美	
講師	<b>下実務経験</b>	パソコントし	ノーナー歴28年	<u> </u>					
交	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース		選択者		授業形態	実習	N H
	期間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回	あたりの授業	時間	135	分
	期				修得目	標			
	前期	Wordの有刻	効な利用を通し	て、文書デサ	ゲイン能力を	取得する。			
回数				【授	業	計	画】		
1	4月18日 4月25日 5月9日		゛ンス、PC操作			フードの基本	的な操作、文	(書作成	
2	5月16日 5月23日 6月13日	ビジネス	らビジネス文書 ス文書の決まり 飾、表や図の扌	を学ぶ。	書の作成				
3	6月20日 6月27日		デザイン文書 様々な機能を		ザイン文書 <i>0</i>	D作成を学ぶ	, *o		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
評	· 呼価方法	2/3以上の	出席で「修得家	*」評価 					
	評価	「修得済」詞	平価(点数評価	は行わない					
	テキスト								
注	意事項	9(6)時間	中 6(3)時間0	)欠席で定期	試験受験不	可=卒業がで	きません(留	3年となり	ます)

	科目名	ヴォーカル実習(選択) 担当講師 宍戸美鈴								
講印	<b>下実務経験</b>	シンガーソ	ングライター							
女	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース		選択者		授業形態	実	19 1	
	期間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回;	あたりの授業	時間	135	分	
	期				修得目	標				
	前期	発声法基础	楚と歌唱法を修	得する。						
回数				【授	業	計	画】			
1	4月18日 4月25日 5月9日	発声法基础	楚(高音域•低音	音•中音域)	歌唱法(ミッ	クスボイス)				
2	5月16日 5月23日 6月13日	発声法基础	楚(高音域•低音	音•中音域)	歌唱法(ビブ	<b></b> ラート)				
3	6月20日 6月27日	発声法基础	楚(高音域•低音	音∙中音域∙ቇ	<b>】腔共鳴)</b>					
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
	評価方法 2/3以上の出席で「修得済」評価									
	評価 「修得済」評価(点数評価は行わない									
	テキスト									
注	E意事項	9(6)時間	中 6(3)時間の	D欠席で定期	試験受験不	可=卒業がで	できません(留	年となり	ます)	

;	科目名	1	ギター実習(選	択)			担当	講師	小杉	ふ チホコ	
講師	<b>下実務経験</b>	箱バンでの	)ギター演奏9억	ᆍ、自身0	のバン	ド活動	動約1	5年			
交	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース			選択	者		授業形態	実	'習
	期間	前期	総授業回数	3(2)	回		1回	あたりの授業	<b>時間</b>	135	分
	期					修得	目	標			
	前期	ギター演奏	の基本技術と	知識を修							
回数				【授		業		計	画】		
1	4月18日 4月25日 5月9日	実習内容に	こついて説明、	セットアッ	プ、基	基本エ	クサヤ	ナイズ			
2	5月16日 5月23日 6月13日	オープンコ・	ード、コードの原	む用、シン	ノプル	な課題	題曲				
3	6月20日 6月27日	ブルースフ	ォームでの様々	な演奏だ	スタイ	゚ル					
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
<u> </u>	<b>呼</b> 価方法	2/3以上の	出席で「修得済	打評価							
	評価	「修得済」評	平価(点数評価	は行わな	い						
	テキスト										
注	E意事項	9(6)時間	中 6(3)時間の	)欠席で記	定期記	<b>試験</b> 受	験不	可=卒業がで	きません(留名	年となりま	<b>きす</b> )

;	科目名	ベース実習(選択) 担当講師 木村 圭子									
講師	<b>下実務経験</b>	ベーシスト									
交	才象学年	1 学年	対象コース		選択者		授業形態	実習	] ]		
	期間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回	あたりの授業	時間	135	分		
	期				修得目	標					
	前期	ベースの役	と割を学び、基	礎スキルを修	を得する。						
回数				【授	業	計	画】				
1	4月18日 4月25日 5月9日	BASSという	う楽器について	(基本フォー	ム・運指トレー	ーニング)					
2	5月16日 5月23日 6月13日	2finger奏》	去基礎 8feel į	groove 課題	曲						
3	6月20日 6月27日	Slap奏法	基礎 16feel∃	feel groove	果題曲						
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
	平価方法	2/3以上の	出席で「修得家	<b>筝」評価</b>							
	評価	「修得済」詞	平価(点数評価	は行わない							
-	テキスト										
注	E意事項	9(6)時間	中 6(3)時間の	の欠席で定期	試験受験不	可=卒業がで	できません(留	年となりま	(す)		

科目名 ドラム実習(選択) 担						担当	講師		岸林	大輔		
講師	<b>下実務経験</b>	演奏家、ヤ	マハ、三響、ミ	ツノ講師	i							
交	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース			選:	択者		授業形	態	実	習
	期間	前期	総授業回数	3(2)	回		1回	あたりの	授業時間		135	分
	期					修 :	得目	標				
	前期	Dr,Set,及て	バリズムの基礎	を修得す	゚゚゚る。							
回数				【授		業		計	画】			
1	4月18日 4月25日 5月9日	Stick Cont	rol&Foot リズム	ムスタイノ	L							
2	5月16日 5月23日 6月13日	リズムスタ	イル#2、Fill−In									
3	6月20日 6月27日	リズムスタ	イル#3、エチュ	ード、まと	上め							
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
言	平価方法	2/3以上の	出席で「修得家	<b>新」評価</b>								
	評価	「修得済」詞	平価(点数評価	は行わな	ぶい							
	テキスト											
注	E意事項	9(6)時間	中 6(3)時間の	)欠席で	定期	試験	受験不	可=卒業	ができません	ノ(留ち	₹となり	ます)

	科目名		DTM実習(選捷	尺)		担当	<b>á講師</b>	中	村 未央	
講師	<b>市実務経験</b>	DTM講師絲	圣験							
対	<b>才象学年</b>	1 学年	対象コース		選			授業形態	実 <sup>:</sup>	 習
	期間	前期	総授業回数	3(2) 回		1回	あたりの授業	美時間	135	分
	期				修	得 目	標			
	前期	基本的な打	Tち込み技術を	修得する。						
回数				【授	業		計	画】		
1	4月18日 4月25日 5月9日	Cubaseの∄	基本操作1							
2	5月16日 5月23日 6月13日	Cubaseの∄	基本操作2							
3	6月20日 6月27日	Cubaseの∄	基本操作3							
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
= =	平価方法	2/3以上の	出席で「修得法	斉」評価						
	評価	「修得済」詞	平価(点数評価	iは行わない						
	テキスト									
注	注意事項	9(6)時間	中 6(3)時間(	の欠席で定其	月試懸	<b>美受験不</b>	可=卒業がで	できません(音	留年となり	ます)